

No.	交付対象事業のタイプ／事業概要／実施内容	交付金 充当額(円)	重要業績評価指標(KPI)			事業 評価	八幡浜市まち・ひと・し ごと創生総合戦略検 討委員会の評価・意 見	今後の方針
			評価指標	目標値 (R7)	実績値 (R7)			
1	<新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)> 愛媛発の暮らし方改革提案と新たなコミュニティ形成による若者世代呼び戻しプロジェクト ■事業概要 <全体事業> 地域おこし協力隊OB・OG組織を活用した地域と若者世代との橋渡し機能の充実や、SNSを活用した愛媛の魅力訴求、愛媛ファンの拡大等により、将来を担う若者世代の地方回帰・定着の流れを力強く生み出す仕組みを構築し、若者世代に選ばれる移住地域づくりを目指す。 <当市の事業> ・ポータルサイトやSNSの活用、移住フェアへの参加による当市の暮らしや魅力を発信等の取組みを通じて、移住・定住の促進を図る。 ・ふるさとキャリア教育の実施、UIターンによる新規就農者への支援等、若年層をターゲットに様々な角度から移住先として選択されるまちづくりを進め、定住人口の増加を図る。	7,995,089	県外からの移住者数に占める20代及び30代の人数(人) ※愛媛県全体の指標	3,617	4,008	3 (効果があった)	■効果があったとすることで、今後の方向性として事業の一部を改善していくようにした方が良いのではないかと。	■引き続き、きめ細かな移住施策を継続するとともに、本市の特徴でもある柑橘産業の新規就農者の確保・育成など、地域特性を活かした事業を展開していく。 ■将来地元に戻ってくる選択肢をもってもらうため、シビックプライドを醸成するためのふるさとキャリア教育の推進にも取り組んでいきたい。
			県外からの移住者数に占める20代及び30代の割合(%) ※愛媛県全体の指標	65.70	55.90			
			地域おこし協力隊の定着率(%) ※愛媛県全体の指標	80.30	未確定			
			地域留学入学生徒数(人) ※愛媛県全体の指標	339	122			

No.	交付対象事業のタイプ／事業概要／実施内容	交付金 充当額(円)	重要業績評価指標 (KPI)			事業 評価	八幡浜市まち・ひと・し ごと創生総合戦略検 討委員会の評価・意 見	今後の方針
			評価指標	目標値 (R7)	実績値 (R7)			
2	＜新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)＞ 食べてみとん愛顔になるけん！ニューノーマルに対応した愛媛の農林水産物のブランド化・販売促進事業 ■事業概要 ＜全体事業＞ 「すご味」、「すごモノ」データベースを活用し営業活動を国内外で展開するとともに、デジタルマーケティングなどの情報関連技術を活用した営業活動に取り組むなど、国内外での販路拡大をより一層強力に進め、地域の稼ぐ力、ひいては仕事の創生を図る。 ＜当市の事業＞ ・県と連携して、地域のニーズや実態を踏まえた効果的な農林水産業の振興のための事業に取り組み、国内外における農林水産物の販路開拓・拡大を進める。 ・農商工連携や6次産業化などの取組みによる収益の拡大、これまで十分活躍できる場がなかった女性の活躍の推進などにより、地場産業の活性化を図る。	14,897,890	県関与年間成約額 (億円) (農林水産物) ※愛媛県全体の指標	221.4	171.7	2 (相当程度効果があった)	特になし	■今後も継続して首都圏等の商談展示会への出展を支援していく。支援制度の周知に努める。 ■八幡浜ブランド製品の海外販路開拓支援として、シンガポールへの販路開拓等を検討している。 ■世界農業遺産認定に向けて、小さな会議からシンポジウムとといった大きな事業に至るまで、様々な機会をとりえて農業遺産のPRをしていく。
			県関与年間成約件数 (件) ※愛媛県全体の指標	2,662	2,270			
			「愛」あるブランド製品の年間販売額 (億円) ※愛媛県全体の指標	196.4	確認中			

No.	交付対象事業のタイプ／事業概要／実施内容	交付金 充当額(円)	重要業績評価指標(KPI)			事業 評価	八幡浜市まち・ひと・し ごと創生総合戦略検 討委員会の評価・意 見	今後の方針
			評価指標	目標値 (R9)	実績値 (R7)			
3	<新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)> 「八幡浜みなと」を核とした賑わい創出事業 ～八幡浜港みらいプロジェクト～ ■事業概要 クルーズ船寄港に合わせて、観光情報の発信を行うとともに、地元の食や地元産品等の販売・PRするための歓迎イベントを開催する。 ①クルーズ船歓迎セレモニー開催 ②観光ツアー造成、観光案内 ③寄港時の歓迎イベントの開催 ④出港、お見送りの対応	642,552	観光入込客数(人)	1,796,253	1,778,671	2 (相当程度 効果があつた)	特になし	■今後もクルーズ船の寄港が予定されているので、PR動画を作成するなど、魅力発信に努めたい。
			道の駅・みなとオアシス「八幡浜みなと」年間来場者数(人)	1,125,720	1,085,800			
			道の駅・みなとオアシス「八幡浜みなと」年間売上額(千円)	1,134,886	1,160,654			

No.	交付対象事業のタイプ／事業概要／実施内容	交付金 充当額(円)	重要業績評価指標(KPI)			事業 評価	八幡浜市まち・ひと・し ごと創生総合戦略検 討委員会の評価・意 見	今後の方針
			評価指標	目標値 (R7)	実績値 (R7)			
4	<デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装 タイプ)> コンビニ交付サービス導入事業	0	コンビニエンスストア 等での証明書発行 件数	7,000	3,048	1 (非常 に効果 があつた)	特になし	■本事業への交付金 の対象期間は令和5 年度限りであるが、事 業自体は次年度以降 も継続する。そのた め、今後も利用者のさ らなる拡大に向けた 周知に注力し、市民 の利便性向上を図 る。 ■具体的な取り組み として、市民課で使用 する封筒への案内チ ラシの貼付を継続す るとともに、市役所総 合案内窓口において も来庁者への案内を 継続的に実施してい く。
	上記のうち、土日・ 時間外における証明 書発行件数		3,500	865				
	マイナンバーカード の交付率向上(%)		90	106.9				
	コンビニ交付サービス 導入による住民の満 足度向上(%)		70	100				

No.	交付対象事業のタイプ／事業概要／実施内容	交付金 充当額(円)	重要業績評価指標(KPI)			事業 評価	八幡浜市まち・ひと・し ごと創生総合戦略検 討委員会の評価・意 見	今後の方針
			評価指標	目標値 (R8)	実績値 (R7)			
5	<デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装 タイプ)> 窓口受付システム導入事業	0	窓口受付システムの 利用者数 (人)	8,000	1,602	2 (相 当 程 度 効 果 が あ っ た)	特になし	■ 交付金の対象とし ては令和6年度のみ であるが、事業とし ては継続していくた め、引き続き、利用 者拡大につながる周 知に努め、利便性向 上につなげたい。 ■ そのためにも、窓 口に來られた方にマ イナンバーカード持 参の有無を確認し、 申請書を書かなく ても証明書を発行 できること及び キャッシュレス決 済で支払い可能で あることを案内す ること、利用者 拡大につなげて いきたい。
	■ 事業概要 マイナンバーカードを活用した「窓口受付システム」を導入することで、申請書を記載しなくても各種証明書を発行することが可能となり、申請書を書くことが困難なお年寄りや申請書の書き方に戸惑っている方に対し、寄り添ったサービスを展開する。また、セミセルフレジ及びキャッシュレス決済を導入することで、多様な決済サービスに対応し、来庁者の利便性向上を図るとともに現金受け渡しに伴う接触機会の削減が図られる。そして、これらサービス導入により、待たせない窓口の実現につなげ、住民サービスの向上及び窓口職員の業務量軽減を図る。		キャッシュレス決済 の利用者数 (人)	3,500	1,415			
	<具体サービス> ・窓口受付システム 申請書を記載しなくても各種証明書を発行することが可能となるサービス ・セミセルフレジ及びキャッシュレス決済 多様な決済サービスに対応し、来庁者の利便性向上を図るサービス		窓口受付システム利 用者の満足度 (%)	4.2	4.23			
			セミセルフレジ及び キャッシュレス決済利 用者の満足度	4.2	4.67			

No.	交付対象事業のタイプ／事業概要／実施内容	交付金 充当額(円)	重要業績評価指標(KPI)			事業 評価	八幡浜市まち・ひと・し ごと創生総合戦略検 討委員会の評価・意 見	今後の方針
			評価指標	目標値 (R8)	実績値 (R6)			
6	<新しい地方経済・生活環境創生交付金(デジタル実装型)> 施設利用予約システム導入事業	2,772,278	施設利用予約システムの利用率 (%)	60	57.9	2 (相当程度効果があった)	特になし	■ 交付金の対象としては令和7年度のみであるが、事業としては継続していくため、引き続き、利用者拡大につながる周知に努め、利便性向上につなげたい。 ■ そのためにも、導入事業者と他自治体が参加する「施設利用予約システムユーザー会」に参画し、利用者や現場担当者の多様な要望を直接事業者へ伝え、対応可能なものから順次システムへ反映させることで、運用の改善を図っていきたい。
	■ 事業概要 本システムの導入前、体育施設や文化施設等の市有施設の利用申請は、開庁時間内に市役所や施設窓口へ直接赴く必要があり、平日の来庁が困難な利用者にとって大きな負担となっていた。 また、施設によっては遠方の窓口で手続きを行う必要が生じるなど、利便性に課題があった。本システムの導入により、スマートフォン等から時間や場所を問わず申請が可能となることで、市民の利便性向上を図るとともに、窓口業務の効率化および事務負担の軽減を実現するもの。 <具体サービス> ・空き状況の確認及び予約 スマホ等でいつでもどこでも空き状況を確認でき、また予約も可能になるサービス ・オンライン収納機能 オンライン上でクレジットカード決済や二次元バーコード決済が可能になるサービス(コンビニ決済も対応可能) ※令和7年10月～利用開始		施設利用予約システムの満足度	3.75	4.29			